



静かに、白熱した戦い

社 会福祉協議会と町老人クラブ連合会が主催する第36回新春高齢者囲碁将棋大会が、1月12日(金)に虹のプラザ和室で開催されました。大会には町内の高齢者13名が参加し、静かな会場に碁石や駒を打つ音が響き、白熱した戦いが繰り広げられました。結果は下記のとおりです。

- 『囲碁の部』 第1位 加賀昭太(南 通)
 第2位 宮田 登(佐田町)
 第3位 青木 孝次(庚申町)
- 『将棋の部』 第1位 海藤 典雄(駒 籠)
 第2位 村岡 力雄(鷹巣2)
 第3位 伊藤 久夫(朝日町)

おせちで明るく元気な正月を

食 生活改善推進員連絡協議会のメンバー(佐藤スミエ会長)による、おせち料理作りが12月28日(木)に虹のプラザ調理室で行われました。これは町内の高齢者に、地元の食材を使用した手作りのおせち料理を食べてもらい、元気で明るい正月を過ごしてもらおうと毎年実施しているものです。

献立は昆布巻きにしんやぼう(鱈)煮、黒豆や栗きんとんなど7品で、メンバーの畑で採れた食材もふんだんに使用し、自宅などで3日前から手作りしたおせち料理が色鮮やかに盛り付けられました。配送には町社会福祉協議会の配達ボランティアが協力し、おせち料理約80個と初めが一人暮らしなどの高齢者の元へ届けられました。



決意新たに新春書初め

3 学期のスタートとなる1月5日(金)に大石田中学校で恒例の書初めが行われました。はじめに講師の井上祥子さん(佐田町)の書道教室に通う生徒による書道パフォーマンスが行われ、今年の干支「戌」のさまざまな字体と生徒会スローガンが大きな紙に力強く書かれ、披露されました。書初めの課題は1年生が「限界に挑む」、2・3年生が「確かな成長」で、井上さんが全体のバランスを考えながら真っ直ぐ書くことなどポイントを指導しながら会場を回り、生徒らは最後の1字まで集中して課題の言葉を写生していました。



あたたまりランド深堀新春行事

あ ったまりランド深堀で新春恒例の餅つきが1月2日(火)に行われました。餅つきは入浴に訪れたお客さんの目の前で、うすと杵を使って餅をつき、つきたての餅は納豆餅にして振舞われました。餅つきにはお客さんも参加し「よいしょ」の掛け声で元気よく杵を振り下ろしていました。この日は豊田地区の小学生による大黒舞と川前ギフチョウ神楽も披露され、訪れた方は新年の伝統行事を楽しんでいました。また、5日(金)にはだんごさしも行われ、入浴に訪れた方が今年一年の幸せを願いながら大きなミズキの木に団子を飾り付けていました。だんご木は4月上旬まで飾られる予定です。



伝統行事だんごさしに挑戦

小 正月の伝統行事だんごさしが大石田保育園で1月15日(月)に行われました。この日は4歳児11名が、地域住民との交流を目的に招かれた海谷地区の方4名に教わりながら一緒に団子をこねる作業から取り組みました。子どもたちは、保育園の入口に設置されたミズキの木に手を伸ばして、自分でこねた赤・黄・緑・白の色とりどりの団子を枝の先に次々と刺していき、子どもの手が届く低い枝がいっぱいになってしまうと、地域の方や先生から抱え上げられて、だんご木全体を色鮮やかに飾り付けていました。



「西郷どん」題材に地域の歴史学が

福 祉生きがい講座が虹のプラザ中会議室で1月17日(水)に開催されました。これは社会福祉協議会が主催して行われたもので「戊辰戦争と大石田」と題して大石田町郷土史研究会会長の小山義雄さん(四日町)が当時の町の人々が戦争とどのように関わったかなどを、ユーモアを交えながら語りました。NHK大河ドラマ「西郷どん」が放送されていることもあって関心が高く、講座には50名以上が参加し、歴史講義に熱心に耳を傾けていました。参加者は「語り口がとても面白く、当時の人々が置かれた状況が想像できた。ドラマをより楽しく見られそうです」と話していました。

